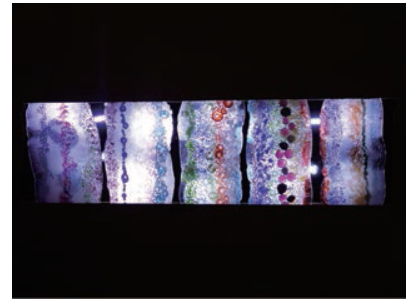
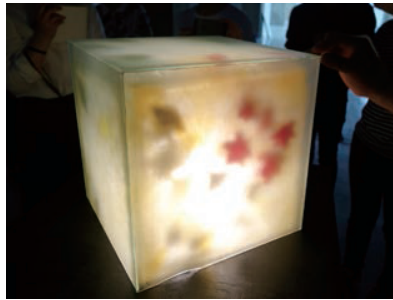


武蔵野美術大学芸術文化学科主催 Glass×Geibun Project 2015

「たまゆら～光を内包するガラス～」



(画像は2014年度のものです)

●企画概要

武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科クラフトコースガラス専攻の学生が制作した作品を、芸術文化学科の学生がプロデュースをする展覧会を開催します。“たまゆら”とは、意図せず写真に光の粒が映り込む現象のことで、作品や人との出会いの中にある“偶然性”の面白さをこの展覧会で共有したいと思い、タイトルとしました。

展示作品の共通テーマは「光を内包するガラス」。ガラス専攻の8人の作家たちは、それぞれが考える”光とガラスの関係”から膨らませたイメージを、ガラスの持つ性質や魅力を探究しつつ、作品で表現しました。会場では照明を落とし、作品たちが暗闇の中で光り輝く姿を楽しめるようになっています。また、芸術文化学科の学生は、主に作家たちのサポートと展覧会の企画・運営を担当し、その仕事を通して、社会とアート、そして人をつなぐ役割について学びました。

作品制作から展覧会企画・運営、鑑賞者に展覧会に親んでもらう教育プログラムまで、武蔵野美術大学で学ぶ学生たちが生み出した刺激的で豊かな鑑賞と学びの機会を、多くの方々に楽しんでいただきたいと考えています。ぜひ、貴媒体でお取り上げいただきたく、お願い申し上げます。

●出品作家

武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科クラフトコースガラス専攻 4年生 8名

五十嵐 桃子 (いからし ももこ)、市川 紗代 (いちかわ さよ)、遠藤 祐里子 (えんどう ゆりこ)
杉山 有沙 (すぎやま ありさ)、高橋 美彩希 (たかはし みさき)、田中 穂奈美 (たなか ほなみ)
堤 美樹 (つつみ みき)、濱田 敬史 (はまだ たかし)

●見どころ

- 1、武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科と芸術文化学科で学ぶ学生によるコラボレーション(展覧会)
- 2、光によって表情が変化する美しいガラス作品
- 3、展覧会期間中に開催される様々な教育普及プログラム(トークイベント、ワークショップ等予定)

トークショーなどの展覧会イベントは、詳細が決まり次第公式 Facebook にて告知させていただきます。

会 期：2015年6月13日[土]－6月19日[金]

時 間：10:00－18:30(最終日は16:00まで)

会 場：武蔵野美術大学 9号館6階 apmg 他

入 場 料：無料

企画・運営：Glass×Geibun Project 2015(通称：GGP2015)

(武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科クラフトコースガラス専攻
芸術文化学科 芸術文化研究Ⅰクラス)

指導・監修：武蔵野美術大学 工芸工業デザイン学科 教授 大村俊二
芸術文化学科 教授 杉浦幸子

公式 Facebook：<https://www.facebook.com/musabiggp/timeline>

お問い合わせ・取材申し込み

武蔵野美術大学 芸術文化学科 教授 杉浦幸子

〒185-8505 東京都小平市小川町 1-736

電話：090-1122-9095

メール：s_sugiura@musabi.ac.jp